「天気予報のつくりかた』正誤表 (ver10.11.15) 第2版の正誤を太字で追加しました。

ページ 箇所	誤		備考
<u> </u>		 観測データがな <mark>け</mark> れば	"け"を挿入
17 表1.1.1(b) 要素	水に換算した積雪 <mark>楼</mark>	水に換算した積雪 <u>量</u>	"楼"を"量"に訂正
17 表1.1.1 (b) *1	会場では	海上では	
22 表1.2.2 名称	巻 <mark>層</mark>	*************************************	"層"を"雲"に訂正
23 表1.2.3	第2 <mark>間接</mark>	第2 <mark>関節</mark>	"間接"を"関節"に訂正
23 表1.2.3 角度の説明		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	"覚"を"角"に訂正(3箇所とも)
25 下から9行目	成層圏(Stratoshere)・熱圏((Thermosphere)	成層圏(Stratoshere)・中間圏(Mesosphere)・熱圏(Thermosphere)	"中間圏(Mesosphere)・"を挿入
31 上12行目	縁辺部に位置し、		"(図1.3.9)"を挿入
32 上12行目	寒冷前線に相当する。	寒冷前線に相当する(図1.3.13)。	"(図1.3.13)"を挿入
36 下2行	得られているなどから	得られている <u>こと</u> などから	"こと"を挿入
37 上1行目	トラフの通過 <mark>が</mark>	トラフの通過 <u>を</u>	"が"を"に訂正
43 表1.4.1 高層 観測値			"生"を"星"に訂正
49 上10行目	(3-1-2(4)参照)	(3-1-24参照)	"(4)"を"④"に訂正
50 上6行目		必要 <mark>が</mark> ある。	"で"を"が"に訂正
50 下から15行目	<u> </u>	9時の	"15"を"9"に訂正
67 図1.6.10	<u>可視</u> 画像(左) <u>赤外</u> 画像(右)	<u>赤外</u> 画像(左) <u>可視</u> 画像(右)	"可視"を"赤外"に、"赤外"を"可視"に訂正
79 下から14行目	前線 <mark>が</mark> 上昇流	前線,上昇流	"が"を"、"に訂正
79 下から3行目	等圧線850	等圧線, 850	
79 1737-15311日 85 上から7行目	(図2.3.3)。	(図2.2.3)。	"3"を"2"に訂正
90 下から1行目			"をする"を"になる"に訂正
98 上から5行目	(図1.1.2参照)	(図1.1.3参照)	"2"を"3"に訂正
102 図2.2.31	(2003年7月3日03時)	(2003年7月 4 日03時)	137を747に訂正
111 上から7行目	注意な	(2003年7月 <u>4</u> 日03時) 注意 <mark>し</mark> な	"し"を挿入
113 上から8行目		<u> </u>	
113 上から10行目	大きい領域あり。		
115 下から15行目	格子点値(GVP)	A 子点値(GPV)	"GVP"を"GPV"に訂正
121 下から1行目	データそして航	データ、そして航	", "を挿入
135 図3.1.13 図の中の下側中央囲み内			
143 上から8行目	及ぼすことがある	及ぼすことがある <u>。</u>	"。"を挿入
144 下から2行目	作成して <mark>いて</mark> いる。	作成している。	"いて"を削除
152 下から6行目	であ <u>る</u> ,	であ <mark>り</mark> ,	"る"を"り"に訂正
160 図4.2.3 自由モードの中ほど	スパーセル型	スーパーセル型	
161 上から17行目			
162 下から12行目			"の"を"に"に訂正
165 上から2行目	大日本の太十六十 <u>の</u> 54 8 0m	大日本の太十八十二 <u> </u>	"5480を"5460"に訂正
176 上から10行目	19時のレーダーエコー	18時のレーダーエコー	79"を"8"に訂正
176 下から3行目	また。	また.	"。"を","に訂正
177 下から4行目			"いる"を削除
179 下から3行目		実施しており、 膨大 <mark>な</mark>	"の"を"な"に訂正
186 下から1行目		ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	"から南東"を削除
192 上から5行目	雨が降って曇のところがあるが、	雨が降って曇 <mark>り</mark> のところがあるが、	
196 図5.2.7		渡島支庁松前	1 を押入
197 上から6行目	<u> </u>	<u>液岛又升松间</u> 渡島	情山又所体前町で 波島又川松前 に訂正
197 上から11日 197 上から13行目			僧山 で 疫気 に削止 "。"を","に訂正
197 上から13行日 197 下から6行目			。を , に訂正 "送"を"走"に訂正
200 上から17日			医 を た に前止 "前線"を"入り"に訂正
200 上から11日 200 上から2行目	一	横帆 <u>入り</u> は角から始まり 梅雨明け <mark>も</mark>	
200 エバら211日 201 下から2行目	<u>プロー</u> 体的切り <u>は</u> 6月29日9時の		
206 下から4行目		<u> </u>	"368"を"374"に訂正
206 下から4行日 213 上から4行目	王国で <u>308</u> にガリに 長く吹き続け(吹 <mark>送</mark> 時間), 吹く時間が長ければ(吹 <mark>送</mark> 距離)		308 を 374 に訂正
<u> 213 エから4行日</u> 216 下から3行目		<u> </u>	<u> </u>
219 上から1行目	ロートリングの対抗会 cmを記録した。	ロ本海からの対流芸 <u>か</u> cm <u>の降雪</u> を記録した。	
	Cmを記録した。 <mark>暖</mark> 気核をもつ	<u> cmuの降当</u> を記録した。 <u>寒</u> 気核をもつ	
	<u>暖</u> 気核をもり ① 10月10日9時の実況	<u>素</u> 気核をもう ① <u>2001年</u> 10月10日9時の実況	
236 下から3行目	17時以降はすで	17時以降はすで <mark>に</mark>	"に"を挿入
- 236 下から3行日 - 238 上から13行目	4水の多い地域は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17時以降は9で <u> 1</u> ④ <mark>隆</mark> 水の多い地域は	
238 上から13行日 239 下から9行目	図5. 8.4	(4) <u>降</u> 水の多い地域は 図5.8.4	
239 下から9行日 242 下から2行目	<u>図</u> 3. 8.4 850 hPa	<u>図</u> 3.8.4 850hPa	
242 下から2行日 249 表中 上から3行目			
- 249 衣中 エから3行日 - 253 上2行目	バ杰丸が縦 <mark>回</mark> し (a) <mark>中</mark> 層雲	バ杰丸が縦 <u>能</u> し (a) <u>上</u> 層雲	
254 [付録2]図中			中 を エ に訂正 添付図参照
254 [19 蘇2] 図中 263 [付録4] 図中	大丸記ち <u>ロ、区(流り図)</u> アム□ル川 カムチ□ツカ半島 フ□リピン		
264 図中	□北日本□□沖縄・奄美□	<u>〔</u> 北日本 <u>〕(</u> 沖縄∙奄美 <u>)</u>	"□"を"("または")"に訂正
269 付録8 風の強さと吹き方	非常に強い風(暴風)	非常に強い風	"(暴風)"を削除

254 付 録

(4) 天気記号 誤り

WW	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	コード	W1, W2
00 ~ 19 以週時または板振時 計1時間内 (ただしの、 7 を除く) に規測所	00 前1時間内の扱の変化	01 前1時間内に設別飲中	02	前1時間内に緊発生中	例のため観程が感い。	05 38.	06 全中広くじんあいが浮 並(底にそき上げられた	07 \$	108	09(() 概界內球企品與1時間	0	型型5以下。
に呼水、雅、米荘(11、 12を除く)、砂じんあ らしまたは地ふぶき がない。	10	北京社会通知におる。 11	12	13	14 <u>•</u>	¹⁵)•(16 (•)	17	18	19	1	罗展5~6 。
	6 78 0.	地野または低い水類が 散在している(艇の高さ 以下)。	地理または低い水器が 連載している(服の高さ 以下)。	電光は見えるが保険は 間えない。	概界内に降水があるが 地面または海流に速し ていない。	祝昇内に降水、提測所 から違く5km以上あり。	提昇内に降水、税額所 にはない、5km未満。	信仰、観測時に降水が ない。	第1時間内に製御所ま たは視界内にスロール。	第1時間内に投資所ま たは視界内にたつまき、		
20 ~ 29 X 銀 時 前 1 時 門 内 に X 服 所 に 親 、 永 雅 .	20 •]	21 •]	22 *	23 •	24	25 v	²⁶ * ∫	27 ♦	²⁸ =]	²⁹ 【	2	全期間 學景6以上。
多水質性があったが 党議時にはない。	指用金欠は背景があった。 しゅう指性ではない。	紹があった。しゅう密性 ではない。	留があった。しゅう習性 ではない。	みぞれまたは東南から った。しゅう無性ではない。	があった。しゅう前性ではない。	しゅう俗があった。	しゅう似またはしゅう雨 性のみぞれがあった。	ひょう、水あられ、留あら れがあった。雨を伴って もよい。	君生たは氷器があった。	街電があった。降水を伴ってもよい。		
30 ~ 39	30 5	31	32 5	33	34	35	36 →	³⁷	38	39	3	5/4
	選または差の話じんあら し、前1時間内にうすくなった。	囲または茶の巻じんあう し、前1時間内変化がない。	型または美の砂じんあら し、前1時間内に始まった。 またはこくなった。	強い分じんあらし、第1時 関内にラすくなった。	強い砂じんあらし。第1時 関内変化がない。	強い砂じんあらし、前1時 調内に始まった。または こくなった。	選または差の地ふぶき、 限の高さより低い。	強い地よぶき、駅の落さ より低い。	別せたは美の地本よさ、 服の高さより高い。	強い地本がき、即の音を より立い。		砂じんあらしまたは 地ふぶさ、
40 ~ 49	40(=)	41	42	43	44 ==	45	46	47	⁴⁸ ¥	⁴⁹ ▼	4	=
	施方の製または氷器。 前1時間観測所にはない。	羽または水路が放在する。	製または水器、空を透 祝できる。前1時間内に うすくなった。	選または氷器、弦を透 役できない。前1時間内 にうすくなった。	器または氷器、空を透 視できる。前1時間内変 化がない。	群または氷器、空を透 視できない。前1時間内 変化がない。	視できる。前1時間内に 始まったまたはこくなった。	視できない。前1時間内 に射まった。またはこくな った。	33、末夜が発生中、空を 透視できる。	第、水質が発生中、空を 透視できない。	÷	市·米耳士大口说想
50 ~ 59 克爾時に設選所に選 引きり。	50 •	51 • •	52	53	54	55	56	57	58	59	5	,
	第173年。前3時間内に 北み間があった。	類い舞組。第1時間内に 北み間がなかった。	並の舞踊、前1時間内に 北み間があった。	美の霧雨。前1時間内に 北み間がなかった。	強い寡領。前1時間内に 止み間があった。	強い獲削。前1時間内に 此み間がなかった。	銀い容水性の常用率り、	差または強い着氷性の 無限あり。	74指之册表5、型。	祝訊と訊為り、差または強。		Ail.
60~69 根 网 种に数 测 所に前	60	61	62	63	64	65	66	67	68 *	69 *	6	•
- 7.	切り出。前1時間内に止 み間があった。	別い前、前1時間PH二止 み間がなかった。	並の前。前1時間内に止 み切があった。	並の補。第1時間内に止 み間がなかった。	強い前、前1時間内に充 み間があった。	強い所。第1時間内に止 み間がなかった。	切い 符氷性の何あり。	並または強い着京性の 術あり、	みぞれまたは、雰雨と倒 あり、湖。	みぞれまたは、雰雨と哲 あり、美または姿。		FFI.
70~79	70 *	71 * *	72 * *	73 _* *	74 × × ×	75 × ×× ×	76 ←→	77 _ <u>A</u> _	78 —X—	79 🔨	7	*
呼ぶあり、	類1・質、第1時間内に止 み間があった。	第12条。第1年間内に止 み間がなかった。	並の智、前1時間内に止 み間があった。	並の智。前1時間内に北 み間がなかった。	第1号。前1時間内に止 み間があった。	張い雪、前1時間内に止 み間がなかった。	柳水、残があってもよい。	別記者があってもよい。	単独結局の割あり、	泌制あ り、		書きたはみぞれ
80 ~ 89 医細幹に観測所にし * う前性降水などあり。	80 ·	81 ▼	82 \$	83 🕏	84	85 ★	86 ★	87 ☆	88 ☆	89 ♦	8	∇
WINDOWS COO.	会は しゅう得あり、	差または強いしゅう刑あり、	造しいしゅう指あり、	襲いしゅう樹性のみぞ れあり、	美宝たは強いしゅう用性 のみぞれあり。	別いしゅう言あり、	差または強いしゅう包まり、	省あられまたは永あられ、 例、所かみぞれを伴って もよい、	選歩られまたは氷あられ、 差または強、雨かみぞれ を作ってもよい、	関いひょう。指かみぞれ を作ってもよい。間略は ない。		しゅう目性体料
90 ~ 94 機動時にはないが新1時間内に保地あり、	90	⁹¹ 【]•	⁹² 戊]:	93	94 	95 = *	96 点	97	98 Š	99 🕏	9	又
95 ~ 99	並または強いひょう。用か みぞれを伴ってもよい。 知恵はない。	前1時間内に留電があった。観測時に頭い間 あり。	前1時間内に管理があった。提講時に豪本たは 強い刑あり、	った。提問時に楽い習、 みぞれ、智あられ、永あ られ、またはひょう。	った。製造時に並または		弱または並の選項。規語 時にひょう、氷あられまた は含あられを作う。	強い領地、製鋼時に用。 包またはみぞれを作う。	保証、契削時に砂じんあ らしを作う。	強い計程、ひょう、水あられまたは営あられを作う。		शाया.

254 付 録

(4) 天気記号 正しい

ww	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	コード	W1, W2
00 ~ 19	00 前1時間内の雲の変化 不同	01 前1時間内に設置散中 または発達がにぶる。	02 - 第1時間内に空模様全 数に変化がない。	03 前1時開內に投発生中 素な核発達中。	04 ~ 機のため観程が感い。	05 	06 全中広くじんあいが存 並(風に巻き上げられた	07 より 単に巻き上げられたじん あいあり	08 銀」時期情况教育所または 付近の発達したじ人裁編あり。	09(三) 报外代本允益前1時間 许の数で人名61点的。	0	型见5以下.
12 を除く)、砂じんあ ちしまたは地ふぶき がない。	10	11 地霧または低い氷霧が 散在している(眼の高さ	12	13 人間光は見えるが徘徊は間点ない。	14 ・	15)•(积界内に除水、规则所 から違く5km以上あり。	ものではない)。 16 (・) 提昇内に降水・脱瀬所にはない、5km栄養。	17 人 信机 股票中に降水が	前1時間内に製鋼所または提昇内にスコール。	19	1	罗展5-6.
20 ~ 29 数級時前1時間内に 製鋼所に渡、氷井. 降水質型があったが 製護時にはない。	20 ・	以下)。 21 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	以下)。 22 × 3があった。しゅう習性ではない。	23 ・ 米 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	7水性の用金たは養原があったしの分別性ではない。	25 • \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	26 *	27 人	28	29]]	2	全所問 等景6以上。
30 ~ 39	30 編集をは差の時じんあら し線1時間内にラサくな った。	31 国または後の参じんあち し選ば時間が変化がない。	32 類素がは差の砂じんあら し鎖は時間内に始まった。 またはこくなった。	33 会社の 1日 日本 1日 日	34 金融 中心 4 年 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	35 会におりた。前1時間内に始まった。またはこくなった。	36	37 会の方式を表現の存在という。	38 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	39 ◆ → → → → → → → → → → → → → → → → → →	3	かじんあらしまたは高い 地子・おき
40~49 股間時に対生たは朱 放あり。	40(三) 流力の領土たは未報。 前1時間根制所にはない。	41 —— 和歌文は來舊が改在する。	42 対または未常、空を透 板できる。前1時間内に うすくなった。	第3条は本籍、売を通 税できない。前1時間内 にうすくなった。	44	45 新または米料、空を透 見できない。前1時間内 変化がない。	34たは米雅、空を透 根できる。前1時間内に 始まったまたはこくなった。	47 養または参養、完全通 視できない。前1時間内 に始まった。またはこくな った。	48 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	49 新、米雅が発生中、空を 透視できない。	4	于·未在北京的标准。
50 ~ 59 级照时汇级测新汇算 用あり。	50 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	51 9 9 駅・発訊。線! 時間内に 北み間がなかった。	52 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	53 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	55 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56 東 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	57 (ラ・ラ) ※または強い着米性の 報用あり。	58 9 和和上班表的.到.	59 9	5	9 80.
60~69 報酬針に報酬所に開 35.	の	61 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62 ・ 並の雨、前1時間内に止 み別があった。	金の補、前1時間内に止	64 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	第17年,第1時間内に止み間がなかった。	66 動い資水性の商品り。	67 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	68 米 みぞれまたは、森麻と質 あり、薬	69 米 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6	₩ FG.
70 ~ 79 数調時に機能所にし ゅう開性でない媒体 呼水あり。	70 米 類い登場1時間内に止 み間があった。	71 米 米 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	72 米 米 ※の第.前1時期内に止 み間があった。	73 米 米 米 サウス 前1時間内に北 み間がなかった。	74 米 米 米 数1型前时间外比此	75 米 米米 米 ※い乳前1時間内に止 み間がなかった。	76 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	77 - <u>A</u>	78 	79 🛕	7	*************************************
80~89 機御時に超頻所にしゅう前性降水などあり、	80 ▽ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	81 页 数数数据数以上的预数。	82 ▽ 添しいしゅう用あり、	83 ・	84 ・	85 X V	86 ★ ▼	87 ☆ ▽ 図あられまたは木あられ、製品があるぞれを作ってもおい。		89 切いひょう.用かみぞれ を作ってもよい.回前は ない.	8	▽ しゅう田性等水。
90 ~ 94 東國時にはないが前 1時間内に相視あり。 95 ~ 99 微調時に報復あり。	90 東 単本には無いひょう用かるぞれを伴ってもよい。 間面はない。	91 【]・ 前は時間時に間電があった。観測時に頭い損あり.	92 国 ・	93 ス × = ス Δ 前1時間内に留電があった。機関時に限いる。 みぞれ、包あられ、永あ られ、またはひょう。	94 大 大 人 人 人 人 人 人 人 人	製または差の団電、製鋼	96 人 脚または並の選用。税間時にひょう、米書られまたは容易られを行う。	97 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	98 兵 尺 網班級剛學に移じん為 514件ラ	99 点	9	ाँ इतका.